

令和 8 年郡山市議会 9 月定例会提案理由

(令和 8 年 9 月 2 日)

本日ここに、令和 8 年郡山市議会 9 月定例会を開会するにあたり、当面する市政の課題並びに今回提出いたしました議案の概要等について御説明申し上げます。

はじめに、**市政を取り巻く情勢**について申し上げます。

まず、**全国各地で頻発する自然災害に関する本市の対応**について申し上げます。

7 月 28 日に最大震度 7 を観測しました「令和 8 年熊本地震」、先月 13 日に発生しました「令和 8 年 8 月千葉豪雨」及び先月 27 日からの石川県をはじめとした北陸一帯の大雨につきまして、これらの災害で犠牲となられた方々に、深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に対しまして、心からお見舞い申し上げます。

本市では、交通や電気・水道など生活インフラに甚大な被害を受けた熊本県に対しまして、一日も早い復旧・復興に資するため、先月 27 日に、私が熊本県東京事務所にて、東京事務所長に対し、お見舞金を手交いたしました。また、熊本県へ^{じゅうか}住家被害認定調査に係る応援職員を派遣することとし、現在、準備を進めているところであります。

今後も、被災各地の状況を注視し、国や関係機関と緊密に連携しながら情報把握に努め、人的・物的支援について、被災自治体などからの要請に基づき、支援してまいります。

本市におきましても、過去の地震や水害など自然災害の教訓を踏まえ、災害に強いまちづくりに一層取り組んでまいります。

次に、**国の動向**についてであります。

去る 7 月 21 日に「経済財政運営と改革の基本方針 2026」が閣議決定され、「責任ある積極財政元年」と位置づけられた本方針では、「強い経済」の構築と「財政の持続可能性」の両立を基本に、A I や半導体をはじめとした 17 の

戦略分野への重点投資や、「地域未来戦略」の推進による強い地域経済の構築が示されました。

また、これに伴い、7月30日に閣議了解の「令和9年度予算の概算要求基準」においては、「国内投資を通じた潜在成長率の引上げにつながる施策を実施できるよう『強く豊かな日本』投資枠を創設する。要求・要望は賃金や調達価格の上昇を踏まえて行い、予算編成過程において、経済・物価動向等の的確な反映を実現する。」との方針が示されました。

本市におきましては、国の動向を踏まえ、時機を逸することなく市民生活、地域経済に即応できるよう、7月29日に、私自らが国土交通省をはじめとする6省庁15部局を訪問し、各省庁の令和9年度予算概算要求に関し、本市の重点施策を中心に要望活動を行ってまいりました。

今後におきましても、将来都市像「東北の鼓動 未来を奏でる 選ばれるまち郡山」の実現に向けて、「強い地域経済」の構築に努めてまいります。

次に、**最近の景気動向と雇用情勢**について申し上げます。

我が国の経済について、内閣府は8月の月例経済報告において、「景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。」として、基調判断を据え置いております。

また、日銀福島支店は7月の金融経済概況において、「県内景気は、足踏みしている。」と総括判断を据え置いております。

雇用情勢については、郡山公共職業安定所管内の7月の有効求人倍率は1.41倍となっており、前月比で0.01ポイント下回っているものの、全国平均の1.18倍及び県平均の1.24倍と比較しまして、それぞれ上回っております。引き続き、情報の収集・分析・提供に努めてまいります。

次に、**農作物の生育状況**について申し上げます。

梅雨明けは、平年より11日遅い8月4日頃となり、梅雨明け後も8月上旬は日照時間が平年より少なく、気温は概ね低く推移しました。このためキュウリ等一部の作物で出荷量が減少しましたが、熱海町を中心に作付けされている「日本なし」は、大きさ、収穫量とも平年並みとなるなど、農作物の生

育は概ね順調に推移しております。

なお、8月31日に農林水産省が発表した8月15日現在の福島県の水稲の主食用収穫量は、「平均並み」となっております。

今後におきましても、気候変動等を十分注視しながら、関係機関及び農業者団体等と連携を密にし、農家の生産支援に万全を期してまいります。

続きまして、**当面する市政の課題**について申し上げます。

はじめに、「**選ばれるまち**」に関する**施策**について申し上げます。

郡山とつながる交流イベント「Hello KORIYAMA」については、本市出身者をはじめとした、主に関東圏にお住まいの20代から30代の若者を対象として、来月31日に、東京新宿で開催予定であり、現在、参加者を募集しております。当日は、フリーアナウンサーの^{のうがわとかひろ}直川貴博さんが司会を務め、フロンティア大使である^{やないゆめな}箭内夢菜さんによるトークショーや、本市で活躍する魅力ある方々との交流などを実施いたします。

本イベントを通じて、本市とのつながりを深めていただくことで、関係人口の創出や将来的なU I Jターンの促進に繋げてまいります。

次に、**2027年郡山市ハタチのつどい**については、来年1月10日に宝来屋ボンズアリーナを会場として開催いたします。新たな企画として、参加者と地元企業を結ぶため、イベントに御協賛いただける地元企業を募集し、音と光によるアトラクションの演出向上やプレゼント抽選会を実施いたします。

2,000人を超えるハタチの若者が一堂に会する絶好の機会でありますので、地元企業や団体と連携を強化し、若者に「選ばれるまち郡山」の実現に向け、本市の魅力を発信してまいります。

次に、**トップスポーツチームとの連携**については、本市をホームタウンとするトップスポーツチームの2026-27シーズンが開幕します。福島ファイヤーボンズは来月3日、福島デンソーエアリービーズは来月23日、宝来屋ボンズアリーナにおいて、ホーム開幕戦が行われます。

本市では、市民の皆様をはじめ、県内外から多くの方々に本市で試合を観戦いただけるよう、シーズン開幕に向けて、郡山駅西口駅前広場に、チーム並びに選手をデザインした横断幕やラッピングを施すなど、シティドレッシ

ングを展開し、本市を挙げてトップスポーツチームを応援してまいります。

トップスポーツの公式戦による本市への効果としましては、昨年度、約16万人が観戦に訪れ、経済波及効果は約8億6千万円と試算されております。また、アマチュアスポーツにおいては、リニューアルした開成山地区体育施設を利用した全国大会等の開催が増え、今年度の参加者数は3年前と比較して7倍にあたる2万1千人を見込んでおります。

今後におきましても、スポーツを通じ、地域経済の活性化や交流人口・関係人口の増加につなげてまいります。

次に、**ふるさと納税**については、本年4月に新設した選ばれるまち推進課が中心となり、返礼品の開発・掘り起こしを積極的に行っているところであり、新たな体験型返礼品として、JR郡山駅での駅長デビュー並びに車両メンテナンス体験ツアーや、あさか野夏まつり花火大会の送迎付き特別観覧席を開発し、いずれも好評をいただいたところであります。

今後におきましても、寄附申し込みが集中する年末に向けて、市内事業者の皆様との連携・協力体制を更に強化し、魅力ある返礼品の開発を進めてまいります。

続きまして、**市政全般にわたる施策**について申し上げます。

物価高騰対策については、水道料金等に係る「準備料金の半年分の免除」を6月検針分から開始したことに続き、先月には、水道契約をしていない世帯等に対し、支援給付金の申請受付を開始しました。また、市民生活に不可欠な公共交通や地域物流等を維持するため、現在、路線バスやタクシー事業者、及び貸切バスやトラックなど運送事業者を対象に、それぞれ給付金の申請を受け付けております。さらに、市内宿泊施設のクーポン割引についても、観光消費の拡大による地域経済への波及効果を高めるため、福島県の「また来て。」割の11月から始まる第3期及び冬期間の第4期の実施期間に合わせて展開できるよう、準備を進めております。

今後も、物価や燃料価格の動向を注視し、市民の暮らしと地域経済を維持するための支援に努めてまいります。

次に、**脱炭素化に向けた水素の利活用**については、経済産業省が主導する「水素大動脈構想」の実現に向け、先月28日、本市にて、同省や福島県をは

じめ多くの関係者出席のもと、水素バリューチェーン推進協議会主催による「地域準備会」が開催され、私も地元市長として参加しました。会議では、各界を代表する方々が水素需要の拡大に向けた取り組みへの認識を共有するとともに、内堀県知事による「水素1%調達宣言」がされたところであります。

本市におきましても、産総研福島再生可能エネルギー研究所などの研究機関や、水素の利活用に挑む企業・団体が数多く立地する本市のポテンシャルを活かし、官民連携により、水素利活用の促進に取り組んでまいります。

次に、**旧豊田貯水池の利活用**については、次世代の視点で未来を考えるフューチャーデザインの手法による検討を進めることとし、先月25日に、農商工団体や学生、Z世代の方々など、27名をメンバーとして、第1回目のワークショップを開催しました。当日は、同手法の提唱者である、京都先端科学大学 特任教授 さいじょうたつよし 西條辰義氏による基調講演を行うとともに、参加者が、開成山地区の現状や課題を踏まえ、未来視点で話し合いを行いました。

今後におきましても、旧豊田貯水池を持続可能な財産として将来に引き継げるよう、その利活用について、市民の皆様とともに検討してまいります。

次に、**郡山ユラックス熱海**については、施設の長寿命化のため、令和6年10月から改修を進め、昨年11月からは全館を休館し、総事業費18億8千9百万円により大規模改修を実施しておりましたが、この度工事が完了したことから、7月20日にリニューアルオープンいたしました。オープン初日は、2,700人を超える方々に御来場いただき、リニューアルした温泉やプールなどを満喫していただいたところであります。

今後におきましても、電動式移動観覧席など、この度整備した最新の設備を十分に活用し、スポーツ合宿やコンベンションの積極的な誘致に取り組むとともに、磐梯熱海温泉の魅力を広く発信してまいります。

次に、**第62回郡山うねめまつり**については、先月6日から8日まで開催され、姉妹都市である奈良市から、仲川げん市長をはじめ親善使節団の皆様をお迎えし、まつりに華を添えていただきました。会場には、3年振りに10尺太鼓が登場したほか、踊り流しには、延べ4,500人を超える方々に参加いただき、踊り流し終了後には、采女ドンドコに合わせた「うねめ総踊り」が行わ

れ、市内外からお越しの多くの皆様に、郡山の夏の夜を楽しんでいただきました。

また、本年は奈良市との姉妹都市提携55周年を迎える節目の年であり、私も今月24日から、親善使節団団長として奈良市長への表敬訪問や「奈良采女祭」への参加を予定しております。

今後におきましても、これまで育んできた奈良市との絆を、将来にわたって引き継いでいくとともに、姉妹都市として共に手を携え発展してまいります。

次に、**中田地区小中学校、熱海小学校石筵分校の統廃合**のうち、中田地区小中学校については、昨年2月25日に「中田町内の小・中学校の統合を進める会」から提出された要望書を受け、保護者及び地域住民の皆様への説明会を実施し、皆様の意見を丁寧にお聞きしながら、児童生徒や地域にとってより良い統合となるよう準備を進めております。

また、熱海小学校石筵分校については、2年前から実施している説明会を通じ、保護者及び地域住民の皆様から廃止とすることへの御理解をいただいたところであります。

このため、本定例会に来年4月1日をもって宮城、海老根及び御館の各小学校を緑ヶ丘第一小学校に、宮城及び御館の各中学校を緑ヶ丘中学校に統合するとともに、熱海小学校石筵分校を廃止する条例改正議案を提出しております。

次に、**令和8年度郡山市功労者表彰**については、昨日、議長、副議長をはじめ市議会議員の皆様にご臨席を賜り、表彰式を挙行了しました。

今年度は、保健衛生の分野から献血活動の実施・普及にご尽力いただいた皆様を、新たに対象とするなど、自治功労表彰6名及び特別表彰24名と8団体の皆様に表彰申し上げます。

今後におきましても、市政の進展等に功労があった方々の功績について表彰申し上げ、広く周知し、協働のまちづくりの更なる推進に努めてまいります。

続きまして、**提出議案の概要**について申し上げます。

はじめに、**補正予算の概要**であります。

今回の補正予算は、当初予算編成方針等を継承しつつ、「選ばれるまち」、「新たな行政課題や需要への対応」の2つの項目に整理し、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、時宜を捉え今後必要となる予算を編成しました。

それでは、**主要な事務事業**について申し上げます。

はじめに、「**選ばれるまち**」についてであります。

シティプロモーション推進事業については、こおりやまファンクラブの新たなインスタグラムの立ち上げに伴い、若者世代を中心にフォロワー獲得による情報発信力強化を図るため、来年1月に開催する「ハタチのつどい」で行うフォロワーキャンペーンに要する経費を計上しております。

次に、**スポーツコンベンション開催支援事業**については、東北大会以上の大規模なスポーツ競技大会を誘致し、ハイレベルな競技によるスポーツの振興に加え、県内外からの参加者による観光振興や地域活性化を推進するため、スポーツコンベンション開催支援事業助成金の拡充に要する経費を計上しております。

次に、**農業者経営強化支援事業**については、将来にわたる地域農業の持続的な発展を図るため、西田町で白小豆などを栽培する集落営農組織に対し、集落ビジョンの策定や、共同利用機械の導入を支援する経費を計上しております。

続きまして、「**新たな行政課題や需要への対応**」についてであります。

ペップキッズこおりやま整備改修事業については、来年4月からの使用料徴収開始に伴い、入場手続きの効率化に資するセルフレジの導入などに要する経費を計上しております。

次に、**公共施設案内・予約システムの再構築**については、利用者がスマートフォン等により手続きを完結できるよう、新たなサービス機能を搭載するとともに、オンラインで予約できる対象施設を拡大するなどのシステム導入経費に係る債務負担行為を計上しております。

次に、**老人福祉施設等防災対策補助事業**については、災害発生時に自力で避難することが困難な高齢者が利用する施設に対し、浴室設備の改修や照明設備の更新など改修費用の助成に要する経費を計上しております。

次に、**環状線等街路整備事業**については、現在、整備を進めている東部幹線 富久山 道路改良工事において、現場条件の変更及び労務単価や資材単価の上昇等により事業費の増額が必要となったことから、所要の経費を計上しております。

次に、**道路維持管理事業**については、道路の安全対策・改善を図るため、市民の皆様からの情報提供や道路パトロール等により発見した、道路の損傷箇所の補修及び修繕工事等に要する経費を計上しております。

以上が、補正予算の概要であり、この結果、**一般会計補正予算案**は、52億8,789万7千円の増額、本年度の一般会計予算の累計額は、1,480億9,350万5千円となり、前年度同期と比較し、0.3パーセントの増となります。

また、**特別会計補正予算案**は、前年度繰越金の確定に伴い補正する国民健康保険特別会計など、14の特別会計において、それぞれの目的に沿った経費を計上しております。

この結果、特別会計の補正予算総額は、9億3,318万6千円の増額、本年度の特別会計予算の累計額では、1,033億9,596万4千円となり、前年度同期と比較し、0.9パーセントの減となります。

従いまして、一般及び特別両会計を合わせた補正予算額は、62億2,108万3千円の増額、累計額では、2,514億8,946万9千円となり、前年度同期と比較し、0.2パーセントの減となります。

次に、**条例及びその他の議案**としては、「郡山市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例」など条例議案9件、「工事請負契約について」などその他の議案4件を提出しております。

よろしく御審議の上、御賛同を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本会期中に人事案件及び令和7年度の各会計歳入歳出決算認定議案

等を追加提出いたしますので、あらかじめ御了承をお願い申し上げます。